

～「やさしいこころが　にじになる」～



子供たちの笑顔と元気な挨拶で前期後半がスタートしました。今年は例年ない酷暑の上、7月末には津波注意報が発令されるなど、心配なこともありましたが、自由研究や課題を手に、「暑い。」「重い。」言いながらも友達や職員と会話を楽しむ姿を見ると、充電、充実した休みを過ごしたのだなと感じます。長期の休業明けですので、子供たちが無理なく生活リズムを戻し、前期のまとめとなる9月も充実した学校生活を送ることができるように教育活動を進めていきたいと思います。

夏休み明け集会はオンラインでの実施でした。参考では実施が難しい、本の読み聞かせを行いました。「へいわって　すてきだね」という本です。沖縄県与那国島の当時1年生が書いた詩の中に、「やさしいこころがにじになる」という一文があります。とてもすてきな表現だと思います。

本校は約300人の子供たちが在籍しています。一人一人の思いや考えはそれぞれです。学校の始まりを心待ちにしていた子もいれば、不安を抱えながら登校した子もいるかもしれません。心の中は目には見えませんが、表情や様子から想像力を働かせることで相手の気持ちを考えることはできます。今日から高洲小学校にたくさんの虹がかかるように、友達の心を想像し、自分にできることを行っていこうと伝えました。

学校では休み明けの1週間、毎朝「心のおてんき」として健康観察を行いました。全職員で気を付けながら一人一人の様子を見守り、心のケアに努めていきたいと思います。ご家庭でもご心配なことがありましたら早めに担任までお知らせください。保護者の皆様、地域の皆様と一緒に子供たちの更なる成長を支えていきたいと思います。引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

まだまだ暑さが続くようですが、保護者の皆様も体調には十分お気を付けください。

校長